

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月4日

北海道教育委員会教育長 様

北海道網走南ケ丘高等学校長 與 田 顕 規

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標等

【スクール・ミッション】地域から期待されているオホーツク東部の中心校として、広域から入学する多様な生徒の豊かな心と健やかな体をはぐくみ、社会に貢献できる指導的役割を担う人間を育成します。
【スクール・ポリシー】 〈グラデュエーション・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針〉 ・「基本的生活習慣」の確立＝明澄端正・奉仕勤労 ・「自ら学ぶ態度」の確立＝自主自立・明澄端正 ・「家庭学習習慣」の確立＝奉仕勤労・自主自立 〈カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施に関する方針〉 生徒一人ひとりの進路希望の実現や学力を伸ばすため、卒業後の進路や適性を踏まえた教科・科目選択を行い、自分に合った時間割を生徒自ら作成できるよう教育課程を編成し、確かな学力の向上を目指した授業を実施する。 〈アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針〉 ・大学進学等、将来の目標をしっかりと持ち、自ら学ぶとする意欲の高い生徒 ・生徒会活動や学校行事、部活動等において、リーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- さらなる基礎的・基本的事項の理解と読解力の向上が必要。 - 自ら学ぶ態度の育成と家庭学習の時間の確保が必要。	- ICTも効果的に活用しつつ、学習する上で「読む・書く」ことも大切にして欲しい。 - 自主的に「学び合う」態度・姿勢をさらに深めて欲しい。 - 家庭学習が「習慣」となるように引き続き指導して欲しい。
改善方策	- 公開授業週間を活用して、ICT等を活用した授業実践と改善を実施し、教員の資質の向上を図り、生徒の学びへの「意欲」を高める。 - 教務部と年次が連携し、家庭学習の習慣化に引き続き取り組む。	
進路指導	- 生徒や保護者から本校の進路指導に対して概ね理解をいただいている。 - 多様な進路希望の実現を図る取組の充実が必要。	- 推薦での進学が増えているように感じる。常に先を見通しながら進路対応に努めて欲しい。 - 早期より進路の関心を深めていけるように、日頃より生徒それぞれの内面を引き出す指導をして欲しい。
改善方策	- さらなる進路指導の充実を図るため、校内研修等を活用し、職員内で最新の進路動向について常に共有する。 - 進路指導部と年次、近隣の小中学校、企業、官公庁との連携によるインターンシップ等の充実と進路ガイダンス等の効果的な組合せでキャリア教育の充実を図る。	
生徒指導	スクールカウンセラー等の活用で人間関係の適切な構築が図られつつあるが、悩みを抱えている生徒に対し、さらなる教育相談の充実も必要。	スクールカウンセラーの活用は効果的に活用されている様子だが、一方で悩みを抱えている生徒は潜在的に多いので、きめ細やかな対策を検討して欲しい。
改善方策	- 教育相談委員会が中心となり、生徒理解ツール「ハイパーQU」等を活用し、組織的な取組の充実を図る。 - 生徒指導に関して、現状にそぐわない項目等があれば、積極的に議論し、改善していく。	
保健環境	基本的生活習慣の確立等を含めた、健康の自己管理能力の育成と安全意識（危機管理）の育成。	食生活習慣のきちんとした確立が全ての生徒に行き渡ることを期待している。
改善方策	- ホームルーム担任と生徒指導部、養護教諭が連携し、「長期休業中前の心得」や、「ほけんだより」等活用して、基本的生活習慣の確立に努める。 - 集会、啓発資料の配付など継続的にスマートフォン、インターネット、SNS等の使用方法等における適切な指導の継続に努める。	
公表方法	学校だより、学校ホームページ、学校評議員会、PTA役員会での概要報告	

3 添付資料

- 令和5年度 北海道網走南ケ丘高等学校 全日制課程 学校評価票